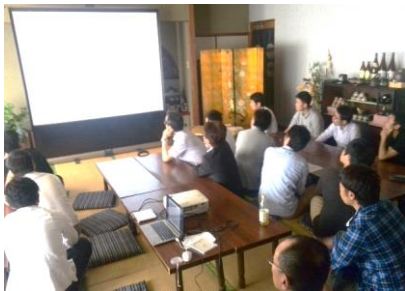


労組の歴史と活動を学ぶ！！

JR採用役員セミナー



JR九州の日帰りグルメリュを利用した「鹿児島地本第1回JR採用役員セミナー」が、6月4日（水）「さくらさくら温泉」で開催された。当日は、梅雨に入った直後だけに、明け方まで大雨が降り、開催が危ぶまれたが、列車も大きな遅れもなく開催することができた。まず、最初に、二〇〇八年にJR連合が作成した、JR総連の異様とも思える行動をとらえた民主化闘争のDVDを鑑賞したのち、白石組織部長の司会で始まり、主催者を代表しあいさつに立った江口地本委員長は、JR採用役員の今後の奮闘が何よりも大事で

あり、そのために私たちは精いっぱい努力をすると、熱く語られた。また、地本選出の上野本部副委員長が来賓としてお見えになり、本年度入社した社員すべてを組合員に入させたことを報告するとともに取り組みへのお礼を述べられた。次に、延時書記長が、パワーポイントを使用し、JR九州労組の組織と活動、組合の必要性と組織されていない労働者の現状について話があった。セミナー終了後は、席を抽選で決めたのち、上反屋副



安全衛生委員会意見交換会

鹿児島地本・熊本地全衛生委員会から①安全本同第3回「安全衛生委員会の活性化衛生意見交換会」は、5月24日（土）14時30分から、JR九州ホテル鹿児島島の会議室において、約40名が出席し開催された。まず、中目原書記長から、基本的な安全衛生委員会の仕組み及び「安全衛生委員会」に関する組合アンケート結果がパワーポイントを用いて説明されたのち、8名の安全委員長の司会で懇親会が開催された。

また、前段に開催された「JR九州連合の安全デイスカッション」が、JR連合本部、JR九州連合から役員められた。

が出席し、JR九州メインタナンス労組、ケイ・エス・ケイ労組、リテール労組とJR九州労組の本部及び鹿児島地本・熊本地本の代表が参加する中で開催された。JR連合から、安全指針・重大防災防止の行動指針・最近発生した重大労災事例などが提起され、その後意見交換会では参加されたグループ労組から、新幹線ホームから清掃詰所までの屋根の設置、休憩室の増床、宿泊設備の一人部屋への改善、構内渡り板・洗浄台の凍結防止対策など、作業の安全確保のための設備改善が求められた。



出向者交流会を霧島で開催

ワールドカップ日本初戦日の6月15日、出向者交流会が「さくらさくら温泉」で開催された。同温泉にて、後半戦を鑑賞したのち、泥湯を堪能し、懇親会を開催、参加者から近況報告がされるなか、酒が進みにつれ、話も盛りあがった。参加者から、次の開催を要望され、お互い健康で次はもっと大勢で開催しようとの確認し成功裏に交流会を終えた。